



CLOVER



大阪府教育センター附属高等学校 校長通信 No.10 令和7年1月発行

2025 年が始まりました。

新しい年の始まりというのは、どことなく緊張しませんか。真新しいノートに初めて字を書くような感じ。ほどよい緊張感は、パフォーマンスを上げてくれます。（この状態にも名前が付いていました。ヤーキーズ・ダットソンの法則というらしいです。）しばらくは、この「心地よい緊張感」を楽しみたいと思います。

今日の始業式で「**夢の実現**」のお話をしました。

【「幸福」とは何かについては、人それぞれの考え方があると思います。でも、自分が大事にしている夢を実現できる、それも幸福だということは誰も異論がないところだと思います。】（3学期始業式式辞より）
「夢の実現」と言うのは簡単なことだけれど、まず「夢を見つける」ことさえ難しいと思っている人もいます。そんなあなたには次の言葉を贈ります。

「人生には無駄なことも損なこともありません。すべての経験があなたの中に積み重なっていくんです。」

精神科医の斎藤茂太の言葉です。

（歌人の斎藤茂吉は聞いたことがあるかな。茂太は茂吉の息子さんです。）

今すぐに「これ」というものが見つからなくても、探すことを諦めなければ、きっと「何か」見つかるはず。人生で経験することに意味のないことなんてありません。一瞬一瞬を大切に。

～私の本棚～紹介です。

高校1年生のとき、私の周りでなぜか急に「**ミステリーブーム**」が起きまして、友だちと一緒に「アガサ・クリスティー」を読みあさったことを思い出しました。『そして誰もいなくなった』とか『オリент急行殺人事件』あたりは、聞いたことがあるかもしれません。あつ、コナンくんに出てくる阿笠博士の名前はアガサ・クリスティーに由来していますよね。年の初めということもあり、文庫本にハマるきっかけとなった「ミステリー」の中から、今年初めて読んだ本をご紹介します。探究図書館で借りられます。



～ 私の本棚 ～

本と向き合った時間・記録はあなただけの大切な財産です。

1冊1冊との出逢いを大切にしましょう。

冊数	出逢った日	本のタイトル	著者
10	1/2	ある閉ざされた雪の山荘で	東野圭吾
		感じたこと・考えたこと・覚えていたいこと	
		冒頭に「アガサ・クリスティーの『そして誰もいなくなった』」が出てくる状況的には同じ「クローズドサークル（閉じられた空間）」で起きる事件気をつけて読んでいたけど、見抜けなかった…	